

幼 兒 の 教 育

昭 和 八 年 九 月

自 ら を 新 た に す る 努 力

世に生命なく力なきもの情性の如きはない。それが假令よき内容をもつてゐても、弾力を失つては無力である。況んや、情性化するまでに古びたものは、その内容に於ても、必ず考へ直しの時期に迫られてゐる。

よくもまあ舊習依然としてゐられると思ふ。よくもまあ無再考がつゞけられるものだと思ふ。中味のよし悪しよりも、その餘りの定型と傳襲性に驚く。これでは、先づ誰れよりも子ども達がたまるまい。硬化と弛緩は子どもの大嫌ひなものはないからである。

ごむが黴臭くこち／＼に固つて仕舞つてゐる毬、氣が抜けてたるんで少しも弾つまなくなつて仕舞つてゐる毬、流石に子ども／＼うんざりさせられるであらう。

古ぼけたごむ毬は取りかへてやればいゝ。情性化した教育は内から弾力を盛りかへすほかはない。教育は子どもに與へるものである。自らを新たにすゝる努力を缺いた教育を與へるほご、子どもに氣の毒のことはない。むしろ無殘である。